

あむ 地球温暖化

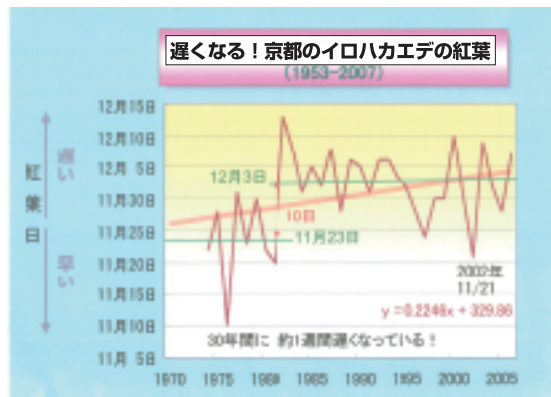
こうよう じき  
**紅葉の時期が**  
 おそ いろ  
**遅くなり、色づきも**  
 わる  
**悪くなっている！**



2002年11月16日



2007年11月18日



くわしい説明 ~大人の方向け~

春の華や発芽が早い反面、秋の紅葉や落葉が遅くなっており、植物の移ろいが夏の期間が長く冬の期間が非常に短くなっていることを教えてくれます。紅葉の遅くなる傾向は春よりも顕著で、全国平均では50年間に約18日も遅くなっています。京都は紅葉の名所もたくさんあり秋には多くの観光客が紅葉見物に訪れますが、近年の紅葉は12月に入ってからが見頃で、11月の20日前後に見頃を迎えることは少なくなりました。京都の紅葉日は1981年以降遅くなる傾向が顕著で、1974年からの30年間の推移をみると、約1週間遅くなっています。また、色づきに変化が現れています。色づきが都市域ほど悪いのです。きれいな色づきの条件は、9月以降に晴れた日が続く、日中の気温は高く夜間冷え込むという気温と、十分な光と水分（降水量・湿度）があることです。都市域は、夜間の冷え込み、十分な光と湿度が欠け、以前のようなきれいな紅葉を見ることが少なくなっています。2002年、京都の7~10月までの気温は平年を上回りましたが、11月の気温は平年より2.4℃も低く猛暑の後急に夜間冷え込み、近年では珍しく11月21日が紅葉日となりました。2007年の同日の紅葉と比べると、2002年の紅葉は、早くてきれいだったことが分かります。

(龍谷大学経済学部教授 増田啓子氏)